

溪和会江別病院 平成28年度病院指標

3 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	29	11	-	10	-	-	1	6,7
大腸癌	17	26	47	24	-	25	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	19	-	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	-	19	1	6,7

患者数としては、大腸癌が最も多く、次いで胃癌、肺癌となっています。

28年度からは呼吸器医師が常勤となり、肺がんの化学療法も昨年より多く行っています。

当院では、ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)を行い、早期の胃癌・大腸癌に対する治療も行っています。

内視鏡での治療となるため、開腹手術よりも患者さんの体への負担が少なくなります。

癌の深さなどにより、開腹手術が必要となる場合もあります。